

研究成果及び活動一覧 (2004. 1. 1～12. 31)〔五十音順〕

- A : 著書、論文、書評など
 B : 学会での口頭発表その他の活動
 C : 講演、論説など
 D : 学術的調査

井上英明

- A : 1 (論文)「竹取物語〈性格〉論 第二稿——帝・かぐや姫・翁を中心に——」(明星大学研究紀要・日本文化学部・言語文化学科)・第12号、ps, 33-42、3. 25.
 2 (論文)「テ・コレ」から「テ・ポ」へと——ただ時を通してのみ、時は克服される——」(明星大学青梅校舎日本文学部共同研究論集・第八輯、編集責任者小堀桂一郎、刊行責任者井上英明) ps, 3-32、3. 20.
 3 (論文)「源氏物語の外国語訳——「真木柱」巻を中心に——」(監修・鈴木一雄/編集・仁平道明「源氏物語の鑑賞と基礎知識」、至文堂、ps, 108-109、11. 10.)
- B : 1 (学会活動) 全国大学国語国文学会常任理事。同学会紀要「文学・語学」編集長(年間)。
 2 (学会活動) 東方学会評議員(国際東方学者会議運営委員。セミナー常任委員)。
 3 (学会活動) 日本文体論学会常任理事(年間)。
 4 (学会活動) 日豪ニュージーランド教育文化学会会長(学会運営年間)。
 5 (学会活動) 日本比較文学会東京支部幹事(学会運営年間)。
- C : 1 (講演)「山と文学」(日本風土学会主催、於新宿産経学園) 6. 26.
 2 (講演)『源氏物語』における「鈴虫」の巻の位置、(源氏物語研究会主催、於パルテノン多摩) 8. 8.
 3 (論説)「わが立正女子大学短期大学部一私の出発点」(文藝論叢40) ps, 108-109.
 4 (編集後記)「文学・語学」180号(全国大学国語国文学会編) p. 44、10. 31.
 5 (随想)「小堀桂一郎・田中敏両先生を送るの辞」AIの「紀要」ps, 1-3.
- D : 1 (学術調査) 福岡県前原市伊都国歴史博物館を中心に邪馬台国跡の調査。12. 6.

牛村 圭

- A : 1 (単行著書)『「勝者の裁き」に向きあって——東京裁判をよみなおす』(ちくま新書)、筑摩書房、286 ps, 3. 10.
 2 (単行著書)『再考『世紀の遺書』と東京裁判——対日戦犯裁判の精神史』、PHP研究所、258 ps, 9. 6.
 3 (論文)「時空をこえて死者の声を聴く——学徒兵戦犯木村久夫と戦後日本」、明星大学日本文化学部編『時間と空間』、pp. 315-367、3. 10.
 4 (論文)「戦後精神史の中の昭和23年——東京裁判と『菊と刀』と」、『明星大学研

究紀要（言語文化学科）第12号、pp.127-135、3.25.

- 5 (論文)「フセイン裁判と『文明の裁き』」、『Voice』3月号、pp.74-83、2.10.
- 6 (論文)「『文明の裁き』はかくも不公平」、『諸君!』9月号、pp.128-136、8.1.
- 7 (論文)「『勝者の裁き』を避けたアメリカ」、『力の意志』9月号、pp.24-25、8.15.

B : 1 東京大学分子細胞生物学研究所 生命倫理委員会委員。

- C : 1 学習研究社『歴史群像』編集部より取材。以下の記事に掲載。「重光葵の冷静な眼がみつめた東京裁判という『勝者の裁き』」、『歴史群像』8月号、pp.138-139.
- 2 A-6の論考の簡略版英訳が、以下の記事として刊行。“Abu Ghraib and the Judgment of Civilization” in *Japan Echo* 12月号 pp.42-46.

岡田恒雄

- A : 1 論文:「能、距離化された演劇—クローデルとブレヒトの場合」、『総合芸術としての能』第10号、世阿弥学会、pp.64-74、8.8.
- B : 1 研究発表:ゲルハルト・ハウプトマン『ミヒャエル・クラマー』—戯曲とベルリナー・アンサンブル上演、ドイツ戯曲研究会、早稲田大学国際会議場共同研究室2、5.15.
- 2 学会シンポジウム/パネリスト:「伝統演劇の海外交流」(「演出家蜷川幸雄の海外公演と能」について発表)、世阿弥学会、西新井文化センター会議室、8.8.
 - 3 研究報告:パウエルバッハ=シラー劇団の『薔薇の名前』上演、ゲストゥスの会、劇団展望アトリエ、10.31.
- D : 1 早稲田大学演劇博物館のCOE研究グループ「ドイツ・ヨーロッパ演劇博物館研究グループ」派遣団の研究協力者として、交流・研究活動をした。8月15-23日:マイニンゲン演劇博物館・ライプツィヒ大学、9月8-15日:デュッセルドルフ演劇博物館、ケルン大学演劇博物館(演劇学文庫)

加藤めぐみ

- A : 1 「時空を超えて—アボリジニ文学の可能性」、『時間と空間』明星大学青梅校舎日本文化学部 共同研究論集 第7輯、明星大学日本文化学部編、pp.227-242、3.20.
- 2 「戦争と花嫁たち:第二次大戦と日豪関係(2)」、『南半球評論』第19号、pp.25-34、3.31.
- B : 1 オーストラリア・ニュージーランド文学会理事(会計・機関誌編集)
- 2 オーストラリア学会理事(学会誌編集)

- C : 1 「文学に見る日豪関係」、第25回日豪セミナー、6.5.

- 2 「盗まれた世代：オーストラリア先住民の苦難」、明星大学青梅校舎、第 25 回公開講座、11. 13.

- D : 1 「多文化社会オーストラリアの現代文学に見る日本人像について」：日本学術振興会科学研究費 基盤研究 (c) の資料収集のためオーストラリア、キャンベラ及びメルボルンにおいて資料調査、8. 2.-18.

古田島洋介

- A : 1 「『大正天皇御製詩集』の基礎的研究——帝王の詩業とその背景——」、明星大学青梅校日本文化学部共同研究論集・第七輯『時間と空間』([編集責任者] 小堀桂一郎、明星大学日本文化学部) pp. 245-314、3. 20.
- 2 「『大正天皇御製詩集』補訂——補遺 / 断片 / 校訂・異文——」、『明星大学研究紀要』〈日本文化学部・言語文化学科〉第 12 号、pp. 53-80、3. 25.
- 3 書評 / 岡田暁生 [監修] 『ピアノを弾く身体』(春秋社)、『明星大学研究紀要』〈日本文化学部・言語文化学科〉第 12 号、pp. 193-195、3. 25.
- 4 「大正天皇と森鷗外」、岩波書店《新日本古典文学大系》明治編第 2 巻『漢詩文集』「月報」15、pp. 1-4、3. 26.
- 5 書評 / 金原理 『詩歌の表現——平安朝韻文攷』(九州大学出版会)、「比較文学」第 46 巻、pp. 90-93、3. 31.
- 6 講演録「アジアの教育」、日台交流教育会『日台交流教育会紀要』第 28 号、pp. 46-50、9. 1.
- 7 講演録抜粋「アジアの教育」、日本教師会 / 機関紙「日本の教育」第 525 号、pp. 1-2、11. 15.
- B : 1 学会発表：“‘Red Snow’ in Chinese and Japanese Poetry”; Special Workshop #14: East Asian Comparative Literary History, International Comparative Literature Association Congress, Hong Kong 2004. 中国・香港理工大学、The Hong Kong Polytechnic University, 8. 9.
- 2 学会発表：“‘Japanese’ Two Methods for the Translation of Chinese”; Workshop on Translation, International Comparative Literature Association Congress, Hong Kong 2004. 中国・香港理工大学 The Hong Kong Polytechnic University, 8. 13.
- 3 学会 / 参加 + 司会：「東アジア比較文化国際会議」第 8 回国際会議日本大会に参加し、第二日目に三名の研究発表 (潘秀蓉「周作人と日本の俗謡」、佐藤信一「菅原道真と文屋時実」、東茂美「神国日本の発現」) の司会をつとめる。九州産業大学 (福岡県博多市)、10. 9-10.
- C : 1 「北京日本学研究センター」文学コース派遣教授、2. 26.-7. 14.
- 2 学術講演「赤い糸の伝説」、北京日本学研究中心 / 総合講座、4. 1.

- 3 学術講演「大正6年は如何なる年であったのか?」、北京日本学研究センター/文学コース研究会、4. 12.
 - 4 学術講演「『万葉集』冒頭二首から見る日本文学の特徴」、山東大学外語学院東語系日本語コース学部生、5. 12.
 - 5 学術講演「大正6年は如何なる年であったのか?」、山東大学外語学院東語系日本語コース大学院生、5. 13.
 - 6 学術講演「『万葉集』冒頭二首から見る日本文学の特徴」、清華大学外語系日本語コース学部生、5. 20.
 - 7 学術講演「一衣帯水——日本漢文学的伝統及其衰落」[中国語]、重慶師範大学文学与新聞学院中文系学部生、6. 4.
 - 8 学術座談会「中日比較文学座談会」[中国語]、重慶師範大学文学与新聞学院中文系大学院生、6. 4.
 - 9 講演「心の教育・魂の教育に向けて（關於心的教育・靈魂教育）」[日本語+中国語]、第29回日台教育研究会、中台医護技術学院、台湾・台中市、12. 28.
- D : 1 学術調査：潘飛声《説劍堂集》版本調査、国家図書館（中文書庫+善本書室）、台湾・台北市、12. 29.

佐佐木茂美

- A : 1 (著書) *Voies et "Vergier" et Varia* (『中世フランス文学論集』(新論文2を含む。選集)(第3巻。邦文編(2))、単著、明星大学出版部、「学部研究助成費」による出版)、379 p. 平成16年3月
- 2 (論文)『散文トリスタン物語』における「鉱物誌」ないし、その出典に関する一考察、単著、明星大学・日本文化学部、『研究紀要』、第12号(2004)、pp. 210-220, 平成16年3月
 - 3 (論文) *Le Château de Priam dans le Roman de Tristan en prose*, 単著、日本フランス語フランス文学会、*Etudes de Langue et Littérature Françaises*, tome 74, pp. 1-18, 平成16年5月 (仏語)
 - 4 渋沢栄一、ポール・クローデル賞選考委員、平成16年5月
 - 5 (百科辞典コラム) *Poet and Voyage*, 単著、*Encyclopedia Femina*, New York, Greenwood, 平成16年9月 (英語)
- B : 1 (口頭発表) "Piere" et "Pome" dans le *Roman de Tristan en prose*, (司会 松村剛氏)(東京大学大学院助教授) Colloque sur le vocabulaire de l'ancien français, 広島大学文学部、平成16年3月 (仏語)
- 2 (口頭発表) *Statue de Galaad dans le Roman de Tristan en prose*, (司会会長 J. マッカシュ氏)(テネシー州立大教授) University of Wisconsin-Madison, Société Internationale de la Littérature Courtoise, 平成16年8月 (仏語)
 - 3 (学会司会) 国際シンポジウム(渡辺守章氏)(東京大学名誉教授)「クローデルと

- 能、能とクロードル」、(Philippe Ménard 氏) (ソルボンヌ大学大学院委員長)
 「マルコ・ポーロ『東方見聞録』の中の日本のイメージ」(通訳横山安由美氏) (フェリス女子大助教授)、明星大学 (日野校)、シェクスピア・ホール、平成 16 年 10 月、(邦・仏語)
- 4 (学会通訳) 学術講演会 (Philippe Ménard 氏) (ソルボンヌ大学大学院委員長)、
 『『散文トリスタン物語』における独創性』、コーディネーターおよび通訳、明星大学 (青梅校)、N-103 AV 大講堂
- D : 1 明星大学創立 40 周年行事の一環としての「国際シンポジウム」および「国際学術講演会」(B3 および B4) (本『紀要』13 号、報告参照) をはじめ Ph. メナール氏 招聘、滞在等の起案、コーディネート等の活動。

柴田雅生

- A : 1 「キリシタン資料における返読について—『落葉集』に見える事例を中心に—」、
 『活水日文』第 45 号、pp. 159-174、1. 30.
- 2 「仮名資料における文字列の解釈について—『土左日記』二月六日条「いを不用」
 をめぐる考察—」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部言語文化学科) 第 12 号、
 pp. 81-92、3. 25.
- D : 1 明星大学創立 40 周年行事の一環としての「国際シンポジウム」・「国際学術講演会」、
 および Ph. メナール氏招聘・滞在等のコーディネート。

正慶 孝

- A : 1 「神話とユートピア——経済学的宇宙の時間と空間」(『明星大学日本文化学部共同
 研究論集第七輯 時間と空間』所収)、pp. 70-100、3. 20.
- 2 「情報社会の論理と心理」(『明星大学紀要』、日本文化学部言語文化学科、第十二号
 所収)、pp. 98-111、3. 25.
- 3 「日本再構築のビジョンを考える——再建 (アナストロフ) か破局 (カタストロフ)
 か」(『世界経営協議会会報 2004』所収)、pp. 100-106、10. 30.
- B : 1 「経済の論理と倫理——昔、経済学は倫理学であった」、地下経済研究会、5. 22.

田村良平 (村上 湛)

- A : 1 論文:「国立能楽堂・番外能復曲の再検討～創立二十年に寄せて」、『明星大学日本
 文化学部編・明星大学青梅校舎日本文化学部共同研究論集・第七輯～時間と空間』、
 pp. 368-395、3. 20.
- 2 論文:「時評・国立能楽堂の二十年～創立二十周年に寄せて」、『明星大学研究紀要
 【日本文化学部・言語文化学科】』第 12 号、pp. 93-97、3. 25.
- 3 評論:「狂言毀誉褒貶～11 月の能・狂言」、『能楽タイムズ』1 月号、能楽書林、1.

- 1.
- 4 評論：「囃子のいろいろ～3月の能・狂言」、『能楽タイムズ』5月号、能楽書林、5.5.
- 5 評論：「塩津哲生の能と喜多流の現在」、『新能楽ジャーナル』21号、pp. 4-7、たちばな出版、1.1.
- 6 評論：「生命の火～若松健史の〈鉢木〉」、『新能楽ジャーナル』22号、pp. 4-7、たちばな出版、3.1.
- 7 評論：「ことばを超える音～藤田大五郎の〈関寺小町〉」、『新能楽ジャーナル』23号、pp. 4-7、たちばな出版、5.1.
- 8 評論：「演ずる『私』と見る『私』」、『新能楽ジャーナル』24号、pp. 4-7、たちばな出版、7.1.
- 9 評論：「古稀の宝生閑」、『新能楽ジャーナル』25号、pp. 4-7、たちばな出版、9.1.
- 10 評論：「袴能はお好きですか?」、『新能楽ジャーナル』26号、pp. 4-7、たちばな出版、11.1.
- 11 評論：「観世・宝生二流協演の〈隅田川〉・野村四郎藝大退官記念能」、『能楽タイムズ』3月号、能楽書林、3.1.
- 12 評論：「橋岡久馬の死」、『能楽タイムズ』6月号、能楽書林、6.1.
- 13 評論：「山本東次郎の藝」、『山本会別会パンフレット』、10.27.
- 14 評論：「谷本健吾独立披露能に寄せて」、『谷本健吾独立披露能パンフレット』、11.6.
- 15 聞書：「この人に聞きたい～狂言師・山本泰太郎（続）」、『新能楽ジャーナル』21号、p. 18、たちばな出版、1.1.
- 16 聞書：「この人に聞きたい～シテ方・梅若晋矢」、『新能楽ジャーナル』22号、p. 18、たちばな出版、3.1.
- 17 聞書：「この人に聞きたい～シテ方・梅若晋矢（続）」、『新能楽ジャーナル』23号、p. 18、たちばな出版、5.1.
- 18 聞書：「この人に聞きたい～小鼓方・成田達志」、『新能楽ジャーナル』24号、p. 18、たちばな出版、7.1.
- 19 聞書：「この人に聞きたい～小鼓方・成田達志（続）」、『新能楽ジャーナル』25号、p. 18、たちばな出版、9.1.
- 20 聞書：「この人に聞きたい～狂言師・高澤祐介」、『新能楽ジャーナル』26号、p. 18、たちばな出版、11.1.
- 21 聞書：「藝を語る～米川文子×富田清邦」、『第18回富田清邦地歌箏曲演奏会パンフレット』、4.4.
- 22 解説：「狂言〈杭か人か〉・能〈小鍛冶〉」、『国立能楽堂』1月号、pp. 16-17、独立行政法人国立能楽堂、1.7.
- 23 解説：「新作狂言〈維盛〉・復曲能〈維盛〉」、『国立能楽堂』2月号、pp. 16-17、独立行政法人国立能楽堂、2.4.
- 24 解説：「狂言〈千鳥〉・能〈藤戸〉」、『国立能楽堂』3月号、pp. 4-5、独立行政法人

- 国立能楽堂、3. 8.
- 25 解説：「狂言〈佐渡狐〉・能〈景清〉」、『国立能楽堂』4月号、pp. 8-9、独立行政法人国立能楽堂、4. 8.
- 26 解説：「能〈井筒〉・狂言〈鬼瓦〉・能〈望月〉」、『国立能楽堂』5月号、pp. 16-18、独立行政法人国立能楽堂、5. 8.
- 27 解説：「狂言〈塗師〉・能〈鶴・白頭〉」、『国立能楽堂』6月号、pp. 12-13、独立行政法人国立能楽堂、6. 2.
- 28 解説：「狂言〈箕被〉・能〈隅田川〉」、『国立能楽堂』7月号、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、7. 7.
- 29 解説：「狂言〈鏡男〉・能〈野宮〉」、『国立能楽堂』9月号、pp. 8-9、独立行政法人国立能楽堂、9. 8.
- 30 解説：「狂言〈歌仙〉・能〈卒都婆小町〉」、『国立能楽堂』10月号、pp. 16-17、独立行政法人国立能楽堂、10. 6.
- 31 解説：「能〈通小町・雨夜之伝〉・朗読〈近代能楽集～卒塔婆小町〉」、『国立能楽堂』11月号、pp. 16-17、独立行政法人国立能楽堂、11. 10.
- 32 解説：「能〈菊慈童・酈縣山〉・狂言〈蚊相撲〉・狂言〈瘦松〉・能〈邯鄲・盤渉〉」、『日比谷シティ夜能パンフレット』、10. 12.
- 33 評談：「能界展望～続・各流の現状」、『新能楽ジャーナル』21号、pp. 13-17、たちばな出版、1. 1.
- 34 評談：「能界展望～観世寿夫賞など」、『新能楽ジャーナル』22号、pp. 13-17、たちばな出版、3. 1.
- 35 評談：「能界展望～後継者の養成」、『新能楽ジャーナル』23号、pp. 13-17、たちばな出版、5. 1.
- 36 評談：「能界展望～橋岡久馬の評価をめぐって」、『新能楽ジャーナル』24号、pp. 13-17、たちばな出版、7. 1.
- 37 評談：「能界展望～続・橋岡久馬の評価をめぐって」、『新能楽ジャーナル』25号、pp. 13-17、たちばな出版、9. 1.
- 38 評談：「能界展望～狂言界の話題をめぐって」、『新能楽ジャーナル』26号、pp. 13-17、たちばな出版、11. 1.
- B : 1 表千家東京都青年部長
- 2 『新能楽ジャーナル』編集委員
- 3 梅若六郎氏・小田幸子女史とともに世阿弥本〈雲林院〉の台本校訂・舞台構成・演出等、制作監修を務める。(1. 18. 梅若会定式能において上演。シテ・梅若六郎)
- 4 梅若六郎氏・小田幸子女史とともに古本〈菊慈童〉の台本校訂・舞台構成・演出等、制作監修を務める。(9. 19. 梅若会定式能、10. 12. 日比谷シティ夜能にて上演。両日ともに、シテ・梅若六郎)
- 5 梅若六郎・小田幸子・野村万作・野村萬斎の諸氏とともに「大黒風流」の台本校訂・舞台構成・演出等、制作監修を務める。(平成17年まで継続)

- 6 梅若六郎氏・小田幸子女史とともに新作〈夜叉ヶ池〉の台本作製・舞台構成・演出等、制作監修を務める。(平成17年まで継続)
 - 7 国立能楽堂の委嘱により、平成17年3月特別企画公演「立花と能」の制作に関与。(平成17年まで継続)
 - 8 国立能楽堂の委嘱により、平成17年11月芸術祭参加特別公演・復曲〈鐘巻〉の台本校訂・舞台構成・演出等、制作監修を務める。(平成17年まで継続)
 - 9 「第18回富田清邦地歌箏曲演奏会」の制作を務める。(4.4. 鍬仙会能楽研修所において公演)
- C :
- 1 講演：「能楽鑑賞講座～2月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、1. 28.
 - 2 講演：「能楽鑑賞講座～3月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、2. 25.
 - 3 講演：「能楽鑑賞講座～4月の能と狂言」、国立能楽堂公開講座、3. 24.
 - 4 講演：「吉村桂充地唄舞鑑賞会解説～珠取海士のはなし」、上方舞友の会、2. 1.
 - 5 講演：「夫婦の歳月～蘆刈のはなし」、鎌倉市立鎌倉芸術館歴史講座、2. 20.
 - 6 講演：「枕草子輪講」、鎌倉市立鎌倉文学館文学講座、3. 12, 19, 26, 31.
 - 7 講演：「老優のゆくへ～能・狂言・歌舞伎・文楽の藝」、明星大学青梅校公開講座、5. 15.
 - 8 講演：「とらわれ人の能～籠太鼓のはなし」、鎌倉市立鎌倉芸術館歴史講座、9. 10.
 - 9 講演：「能〈清経〉上演解説～中将清経の黒髪」、セルリアンタワー能楽堂、11. 13.
 - 10 講演：「能〈井筒〉上演解説～人待つ女の物語」、セルリアンタワー能楽堂、11. 13.
- D :
- 1 日本文化演習IB(2年次)にて、『源氏物語』葵の巻を学生と共に読む。
 - 2 日本文化研究Iにて、臨済宗大本山円覚寺夏季学生大摂心に学生と共に参加する。9. 7-10.

服部 裕

- C :
- 1 西ヨーロッパの家族形態—家族のあり方にみる西欧文化の多様性—第25回公開講座、11. 20.
- D :
- 1 ペーター・ハントケの文学における自然描写が持つ近代批判的な意味に関する研究(科研費)：フランス共和国エクサン・プロヴァンスのポール・セザンヌのアトリエ及びサント・ヴィクトワール山等において実地調査、1. 2-1. 12.
 - 2 ペーター・ハントケの文学における自然描写が持つ近代批判的な意味に関する研究(科研費)：オーストリア・グリフェンのペーター・ハントケの生家並びにハントケの作品で描写されているスロヴェニアの諸地域(イエセニツェ、ポヒスカ・ピストリツァ他)において実地調査、7. 20-7. 31.

林 雄介

265
(8)

- A : 1 「中朝国境と日本帝国主義—朝鮮人親日派問題」、季武嘉也 [編] 『日本の時代史 24』

- 大正社会と改造の潮流』、pp.130-154, 吉川弘文館、5. 20.
- 2 「ソウル見聞記」、人間文化研究機構国文学研究資料館アーカイブズ研究系 [編] 『アーカイブズニューズレター』第1号、pp.5-6、9.30.
- B : 1 学会発表：「日露戦争と朝鮮社会—親日派と“近代性”」、東アジア近代史学会第9回研究大会、早稲田大学、6. 26.
- 2 学会発表：「韓国における歴史資料所蔵機関の現状と課題—日本側研究者から見た視点」、国際シンポジウム「日韓近現代歴史資料の共用化に向けて—アーカイブズ学からの接近」、学習院大学、12. 11.
- 3 朝鮮史研究会幹事長、年間
- 4 歴史科学協議会編集委員、年間
- D : 1 朝鮮総督府文書の所在状況調査：大韓民国国史編纂委員会、政府記録保存所において資料調査、5. 20-5. 23.
- 2 韓国における英才教育の実態に関する調査：常山高等学校（全州）、英才教育研究院、馬山高等学校において実地調査、8. 24-8. 28.
- 3 朝鮮総督府文書の所在状況調査及びシンポジウム打ち合わせ：大韓民国国史編纂委員会、ソウル大学校図書館、国家記録院にて資料調査、11. 23-11. 27.

菱山覚一郎

- A : 1 『社会科の理論と課題（改訂版）』、明星大学出版部、176ps, 12. 20.
- D : 1 昭和初期の民間教育運動について：南多摩地区の民間教育運動の現地調査と資料収集、8. 25-8. 27.
- 2 子どもの問題行動に対する保護者の意識調査、9. 10~9. 30.

秀村研二

- A : 1 「韓国の宗教文化」吉田光男編『韓国朝鮮の歴史と社会』放送大学教育振興会、pp. 194-208、3. 20.
- 2 「韓国の社会関係」吉田光男編『韓国朝鮮の歴史と社会』放送大学教育振興会、pp. 209-218、3. 20.
- B : 1 「火葬：韓国社会はどのように受容したか」、日本文化人類学会第38回研究大会、於東京外国語大学、6. 6.
- 2 韓国・朝鮮文化研究会理事
- 3 財団法人春風学寮評議員
- C : 1 「韓国社会と新生殖医療技術」（環日本海医療論）新潟大学医学部看護保健学科、5. 17.

- 2 「韓国の家族とその変化」(家族—東アジアの事例) 日本大学生産工学部、9. 27、10. 18、10. 25.
 - 3 「結婚と離婚—現代韓国女性と揺れる伝統文化」明星大学公開講座、11. 6.
- D : 1 「韓国社会における民俗文化の変容に関する文化人類学的調査・研究」、大韓民国ソウル市、京畿道高陽市、京畿道坡州市、慶尚北道浦項市清津里、8. 17-9. 2.
- 2 「教会復興会(リバイバル集会)調査」大韓民国京畿道高陽市、9. 10-9. 13.
 - 3 「朝鮮近世士族の社会的性格に関する総合的研究」(科研費調査)、大韓民国全羅北道、9. 19-9. 25.

深澤 清

- A : 1 *Ecology And Business*, 南雲堂、p. 126、4. 1.
- B : 1 日本ワイルド協会 幹事
- D : 1 ウェールズ大学図書館にて資料調査 8. 28-9. 6.
- 2 国家試験 一般旅行業務取扱主任者受験指導 4. 1-7. 15 (週1講座)
 - 3 「英語科教育法」受講生を対象とする 教員採用試験対策ゼミ合宿 5. 28-5. 30.
 - 4 野外活動指導(履修生および参加希望者を対象として)

丸山正義

- A : 1 (翻訳) アンリ=ルイ・ド・ラ・グランジュ『グスタフ・マーラー5 過渡期、不安定、貧困、情熱、ヨゼフィーネ・ポイスル、社会主義者・菜食主義者マーラー、リーピナーとの出会い(1878-1880)』明星大学研究紀要【日本文化学部・言語文化学科】第12号、pp. 1~10、明星大学青梅校、3. 25.
- C : 1 第25回明星大学青梅校公開講座『文化と女性』「貞操観念の変遷—ベルエポックにおけるフランス女性の恋愛」11. 27.
- D : 1 フランス共和国パリ市のグスタフ・マーラー・メディアテック(メディア図書館)において資料調査、9. 13~9. 17.

三木友里

- B : 1 発表「海南島におけるイスラム族の文化的意識の変化について」中国・中山大学、7. 27.
- 2 発表「日本の社会における華僑の状況」中国・広東省江門市、8. 28.
- D : 1 多民族国家である中国の各民族と言語等について調査研究 中国・北京、上海、広州、海南島、7. 22-30.

- 2 哈達の歴史文化の背景と使い方について調査研究 中国・ラサ、12. 25-H 17. 1. 5.

三橋 正

- A : 1 「平安時代の宗教と思想」、『史学雑誌』113 巻 5 号「回顧と展望」、史学会、pp. 65-67、5. 15.
- B : 1 学会発表：「中世における穢の拡大とは何か」、前近代女性史研究会、早稲田大学、3. 13.
 2 学会発表：「密教儀礼から神道論へ」、早稲田大学東洋哲学会第 21 回大会、早稲田大学、5. 12.
 3 学会パネル発表：「『麗気記』の世界観」、日本思想史学会 2004 年度大会パネル「『麗気記』世界の形成と広がり」（コーディネーター三橋）、京都大学、10. 31.
 4 学会シンポジウム発表：「大仏造立と日本の神観念—神仏習合の多重性を探る—」、第 3 回東大寺 GBS（ザ・グレイト・ブッダ・シンポジウム）「カミとホトケ—宗教文化とその歴史的基盤—」、東大寺、12. 19.
 5 戒律文化研究会『戒律文化』第 3 号編集委員
- C : 1 「朝鮮と日本の交流」、調布市国際理解講座、3. 6.
 2 「日本の歴史と仏教」、清泉女子大学ラファエラアカデミア、4. 17-11. 27（計 10 回）.
 3 「歴史の中の青梅」、青梅市国際理解講座、9. 25.
- D : 1 諏訪大社御柱祭の調査、4. 11-5. 9.
 2 北陸地方の宗教史跡の調査、7. 16-19, 8. 4-9.
 3 陽明文庫の資料調査、8. 25.
 4 丹波地方の宗教史跡の調査、8. 26-28.
 5 吉野の宗教史跡の調査、11. 5-7.
 6 東大寺方広会・春日大社若宮御祭の調査、12. 16-17.
 7 小右記講読会で『小右記』長和元年条を『御堂関白記』などと比較しながら読む。
 8 小右記講読会・読み直し会で『小右記』長元四年条の註釈（出版準備）作業を進める。
 9 大正大学総合佛教研究所神仏習合研究会で『麗気記』後半の諸巻の註釈（出版準備）作業を進める。
 10 『速水侑記念論文集』（仮称）編纂委員として 6 回の研究会を開催。
 11 「日本文化研究 II」の授業として学生と飛鳥・奈良の史跡をめぐる、8. 20-24.
 12 「日本文化研究 II」の授業として東京芸術大学美術館「興福寺国宝展」など見学、9. 23.
 13 「日本文化研究 II」の授業として奈良・大阪の史跡をめぐる、11. 1-3.
 14 学生希望者と世田谷美術館「祈りの道—吉野・熊野・高野の名宝—」展を見学、

12. 28.

宗内 敦

- A : 1 「スクールカウンセラーの活用と連携」江川玫成 [編]『校長・教頭のための児童・生徒問題対応百科』、pp. 14-15 教育研究開発所
- 2 「万引きをする子への指導」江川玫成 [編]『校長・教頭のための児童・生徒問題対応百科』、pp. 116-117 教育開発研究所
- 3 「習癖を示す子への指導と対応」江川玫成 [編]『校長・教頭のための児童・生徒問題対応百科』、pp. 94-95 教育開発研究所
- 4 「検査間相関関係から見る各種質問紙性格検査の妥当性の検討」明星大学研究紀要—日本文化学部—言語文化学科・第12号、33-40.
- 5 「学生授業評価」①『琅』16号、52-53.
- 6 「学生授業評価」②『琅』17号、56-58.
- B : 1 「『大学生活に対する満足感』の規定因」日本教育心理学会第46回総会発表論文集、542、2004. 10.
- 2 教育・文芸同人誌『琅』16号、編集発行、2004. 1.
- 3 教育・文芸同人誌『琅』17号、編集発行、2004. 12.

矢野浩三郎

- A : 1 翻訳：スティーヴン・キング&ピーター・ストラウブ『ブラック・ハウス』上・下、新潮社（文庫）上 603ps, 下 620ps, 2. 1.
- 2 翻訳：ケン・フォレット『ハンマー・オブ・エデン』小学館（文庫）699ps, 9. 1.
- C : 1 講演（初日）「翻訳で遊ぼう『タリスマン』から『ブラック・ハウス』へ」、（2日目）「ケン・フォレットの小説作法『ペテルブルグから来た男』の4つの草稿」ユニカレッジ夏期特別講座、8. 26-27.
- D : 1 NPO 法人・日本翻訳者協会（略称 JAT）主催による第1回 JAT 新人翻訳者コンテストの英日翻訳部門審査員を務める。4月-11月。

山下善明

- A : 1 「時空間表現としての国土自然——『菊と刀』の誤読を排す」、明星大学日本文化学部共同研究論集・第七輯『時間と空間』p. 147-196、3. 20.
- B : 1 自著「時空間表現としての国土自然」をめぐって——『菊と刀』と戦後（シンポジウム）、本田技研・共創フォーラム 6. 11.
- 2 統合学術国際研究所研究員
- 3 多摩哲学会委員長、7月より

4 NPO「場の研究所」理事、10月より

- C : 1 「老いて広まる世界——哲学者西田幾多郎の場合」、青梅会報第25号、p.60-64, 12.25.
- D : 1 ドイツ語 III において、独訳『百人一首』を第五十首まで読む。
2 ドイツ語 IV において、M. ハイデガーと独文学者手塚富雄の対話『言葉についての対話』を読む。

山本陽子

- A : 1 (論文)「江戸城障壁画絵様および京都御所障壁画における天皇の表現について」『明星大学青梅校舎日本文化学部共同研究論集・第七輯 時間と空間』pp.396-413、明星大学青梅校舎日本文化学部 3.20.
2 (論文)「マンガ以前の日本絵画の時間と空間表現——マンガのコマとの比較において——」『明星大学研究紀要』[日本文化学部・言語文化学科紀要]第12号 pp.113-126、明星大学青梅校舎、3.25.
3 (論文)「切目王子小考——熊野曼荼羅から一本ダタラまで——」『明星大学研究紀要』[日本文化学部・造形芸術学科]第12号 pp.29-36、明星大学青梅校舎、3.25.
- B : 1 博士(文学)学位論文「絵巻における神と天皇の表現」於早稲田大学大学院文学研究科受理 4.20.
2 (学会発表)「伴大納言絵詞鎮魂説の再検討——脇役の顔貌表現を中心に——」於日本歴史文化学会シンポジウム 6.26.
3 (学会発表)「絵巻における神の表現」於仏教美術研究上野記念財団助成研究会 平成16年度研究発表と座談会 I 9.6.
4 美術史學會常任委員
5 日本宗教文化史学会会計監査
- C : 1 (講演)「美女は世につれ」明星大学〔青梅キャンパス〕第25回公開講座 総合テーマ「女性と文化」10.30.
- D : 1 (研究活動)「百人一首絵における天皇の表現」調査 於跡見学園女子大学短期大学部図書館資料「百人一首コレクション」9月~12月

和田正美

- A : 1 「時空の彼方に望むもの——小林秀雄の見た歴史」『時間と空間』(明星大学日本文化学部共同研究論集・第七輯)、pp.197-226、3.20.
2 「フランスと日本への眼差し——篠澤秀夫『フランス三昧』にこと寄せて」明星大学研究紀要 [日本文化学部・言語文化学科]第十二号 pp.43-51、3.25.